

## 今回の事故に対する豊田市の対応について

### 1 発生直後の対応

平成28年6月20日、4階遮蔽フード内の真空超音波洗浄槽で床に油が漏洩したと JESCO から報告がありました。

市は、報告を受け直ちに現場確認を行いました。漏洩の原因と思われる判定洗浄槽をはじめ、真空超音波洗浄設備のすべての槽内が排液されて空になっており、新たな漏洩は発生しないことを確認しました。また、オンラインモニターの結果から、外部へ PCB の漏洩がなかったことを確認しました。

JESCO からの聞き取り調査により、漏洩した油の PCB 濃度は 0.0223mg/kg であり、PCB 非含有類油の事業所建屋内への漏洩であることを確認しました。

市は、JESCO に対し、原因究明及び再発防止策を講じ、報告するよう指導しました。

### 2 JESCO の対策に対する対応

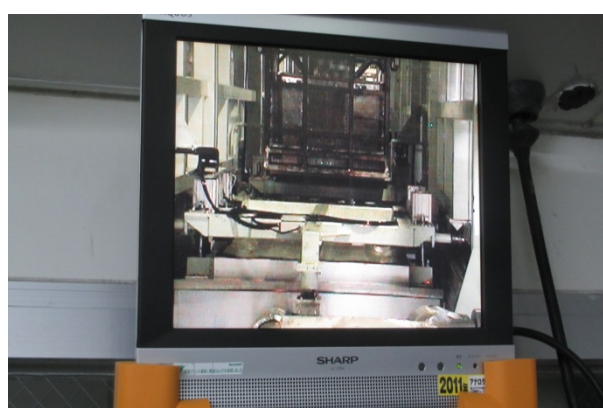
6月30日付で JESCO から、「真空超音波洗浄後の判定洗浄槽からの洗浄油の漏洩について」の報告書が提出されたため、7月1日に JESCO へ立入り、手順書の改訂、教育の実施、搬送工程プログラムの変更といった再発防止対策の内容が適切に実施されていることを確認しました。

#### 【再発防止対策確認状況写真】

○平成28年7月1日



【改訂した手順書に従い作業が実施されていることを確認した。】



【判定洗浄槽からのカゴ取出しの工程が変更されていることをモニターで確認した。】